Rational.Parse Method

名前空間: WS.Theia.ExtremelyPrecise

アセンブリ: ExtremelyPrecise.dll

数値の文字列形式を、それと等価の Rational に変換します。

オーバーロード

Parse(String)	数値の文字列形式を、それと等価の Rational に変換します。
Parse(String,Numbe	指定のスタイルで表現された数値の文字列形式を、それと等価な
rStyles)	Rational に変換します。
Parse(String,IForma	指定されたカルチャ固有の書式で表現された文字列形式の数値
tProvider)	を、それと等価の Rational に変換します。
Parse(String,Numbe	指定したスタイルおよびカルチャ固有の書式の数値の文字列形式
rStyles, $IFormatProv$	を、それと等価の Rational に変換します。
ider)	

Parse(String)

数値の文字列形式を、それと等価の Rational に変換します。

public static WS.Theia.ExtremelyPrecise.Rational Parse(String value);

パラメーター

value String

変換する数値を含んだ文字列。

戻り値

Rational

value パラメーターで指定されている数値と等価の値。

例外

ArgumentNullException
value は null です。
FormatException
value が正しい形式ではありません。

例

次の例では Parse(String)メソッドを使って 2 つの Rational オブジェクトのインスタンスを 生成しています。その後各オブジェクトを乗算し Compare メソッドで 2 つの値の大小を判 定しています。

```
string stringToParse = String.Empty;
try
{
    // Parse two strings.
```

```
string string1, string2;
   string1 = "12347534159895123";
   string2 = "987654321357159852";
   stringToParse = string1;
   Rational number1 = Rational.Parse(stringToParse);
   Console.WriteLine("Converted '{0}' to {1:N0}.", stringToParse, number1);
   stringToParse = string2;
   Rational number2 = Rational.Parse(stringToParse);
   Console.WriteLine("Converted '{0}' to {1:N0}.", stringToParse, number2);
   // Perform arithmetic operations on the two numbers.
   number 1 *= 3;
   number 2 *= 2;
   // Compare the numbers.
   int result = Rational.Compare(number1, number2);
   switch (result)
      case -1:
         Console.WriteLine("{0} is greater than {1}.", number2, number1);
         break;
      case 0:
         Console.WriteLine("{0} is equal to {1}.", number1, number2);
         break;
      case 1:
         Console.WriteLine("{0} is greater than {1}.", number1, number2);
         break;
catch (FormatException)
   Console.WriteLine("Unable to parse {0}.", stringToParse);
// The example displays the following output:
      Converted '12347534159895123' to 12,347,534,159,895,123.
      Converted '987654321357159852' to 987,654,321,357,159,852.
      1975308642714319704 is greater than 37042602479685369.
```

注釈

value パラメーターは、次の形式で表された数字文字列でなければなりません。 [ws][sign]digits[ws]

角カッコ ([および]) 内の要素は省略可能です。それぞれの要素は次の表のとおりです。

要素	説明
ws	空白文字。省略可能です。
sign	符号。省略可能です。有効な文字はカレントカルチャーの
	NumberFormatInfo.NegativeSign と NumberFormatInfo.PositiveSign プロパティ
	によって決まります。
digits	数字列。0から9及び小数点で構成している必要があります。先頭の0は無視し
	ます。有効な小数点はカレントカルチャーの
	NumberFormatInfo.NumberDecimalSeparator プロパティによって決まります。

Parse(String, Number Styles)

指定のスタイルで表現された数値の文字列形式を、それと等価な Rational に変換します。

public static WS.Theia.ExtremelyPrecise.Rational Parse(String value ,NumberStyles style);

パラメーター

value String

変換する数値を含んだ文字列。

style NumberStyles

value に許可されている書式を指定する列挙値のビットごとの組み合わせ。

戻り値

Rational

value パラメーターで指定されている数値と等価の値。

例外

ArgumentException

style が NumberStyle 値ではない、または、seyle に AllowHexSpecifier または HexNumber フラグが含まれます。

ArgumentNullException

value は null です。

FormatException

value が正しい形式ではありません。

例

次の例では Parse(String,NumberStyle)メソッドに、NumberStyle として 16 進数値として 文字列を解釈させる値、スペースを許可する値、符号を許可する値を与えて呼び出しています。

```
Rational number:
// Method should succeed (white space and sign allowed)
number = Rational.Parse("
                            -68054
                                      ", NumberStyles.Integer);
Console.WriteLine(number);
// Method should succeed (string interpreted as hexadecimal)
number = Rational.Parse("68054", NumberStyles.AllowHexSpecifier);
Console.WriteLine(number);
// Method call should fail: sign not allowed
try
{
   number = Rational.Parse("
                                -68054 ",
NumberStyles.AllowLeadingWhite
| NumberStyles.AllowTrailingWhite);
   Console.WriteLine(number);
catch (FormatException e)
   Console.WriteLine(e.Message);
// Method call should fail: white space not allowed
try
   number = Rational.Parse("
                                68054 ", NumberStyles.AllowLeadingSign);
   Console.WriteLine(number);
catch (FormatException e)
   Console.WriteLine(e.Message);
// The method produces the following output:
//
//
       -68054
       Input string was not in a correct format.
```

// Input string was not in a correct format.

// Input string was not in a correct format.

注釈

style パラメーターは空白、符号、桁区切り記号、小数点記号など使用することのできる文字を指定することができます。value パラメーターは、次の形式のうち style パラメーターで許可された要素を数字列に含めることができます。

[ws][\$][sign][digits,]digits[.fractional_digits][E[sign]exponential_digits][ws] 角カッコ([および])内の要素は省略可能です。それぞれの要素は次の表のとおりです。

要素	説明
ws	空白文字。省略可能です。
	NumberStyles.AllowLeadingWhite フラグおよび
	NumberStyles.AllowTrailingWhite フラグで使用可能かが決まりま
	す。
\$	通貨記号。有効な文字はカレントカルチャーの
	NumberFormatInfo.CurrencyNegativePattern と
	NumberFormatInfo.CurrencyPositivePattern プロパティの値で決ま
	ります。
	NumberStyles.AllowCurrencySymbol フラグが有効な時に使用可能
	になります。
sign	符号。有効な文字はカレントカルチャーの
	NumberFormatInfo.NegativeSign と
	NumberFormatInfo.PositiveSign プロパティによって決まります。
digits	数字列。0から9及び小数点で構成している必要があります。
fractional_digits	fractional_digits 以外では先頭の 0 は無視します。
exponential_digits	
,	数字の桁区切りです。有効な文字はカレントカルチャーの
	CurrencyGroupSeparator & NumberGroupSeparator &
	PercentGroupSeparator プロパティで決まります。
	NumberStyles.AllowThousands フラグが有効な時に使用可能になり
	ます。

- . 小数点記号です。有効な文字はカレントカルチャーの CurrencyDecimalSeparator、NumberDecimalSeparator、PercentDecimalSeparator プロパティで決まります。
 NumberStyles.AllowDecimalPoint フラグが有効な時に使用可能になります。
- E "e"または"E"文字は、指数表記で表されている事を示します。 NumberStyles.AllowExponent フラグが有効な時使用可能になります。

数字のみを含む文字列(NumberStyle.None が対応)は常に正常に解析できます。他の NumberStyle メンバーは多くの要素を許可しますが、value パラメーターにはその全ての要素を含んでいる必要はありません。

None	数字のみです。
AllowDecimalPoint	整数部、小数点(.)と桁の小数部を許容します。
AllowExponent	"e"または"E"文字と共に、指数部を許容します。
AllowLeadingWhite	value の先頭に空白がある事を許容します。
AllowTrailingWhite	value の末尾に空白がある事を許容します。
AllowLeadingSign	value の先頭に符号がある事を許容します。
AllowTrailingSign	value の末尾に符号がある事を許容します。
AllowParentheses	負数をカッコで囲って表記する事を許容します。
AllowThousands	整数部を桁区切りする事を許容します。
AllowCurrencySymbol	通貨記号を使用する事を許容します。
Currency	すべての要素を許容します。 ただし、 value プロパティを 16
	進数または指数表記で表す事はできません。
Float	value の先頭、末尾の空白、value 先頭の符号、および小数点、指
	数表記を許容します。
Number	value の先頭、末尾の空白、value 先頭、末尾の符号、桁区切り記
	号、および小数点といった10進数の全ての要素を許容します。
Any	すべての要素を許容します。 ただし、value パラメーターを 16
	進数で表記する事はできません。

Parse(String, IFormat Provider)

指定されたカルチャ固有の書式で表現された文字列形式の数値を、それと等価の Rational に変換します。

public static WS.Theia.ExtremelyPrecise.Rational Parse(String value,IFormatProvider provider);

パラメーター

value String 変換する数値を含んだ文字列。 provider IFormatProvider value に関するカルチャ固有の書式情報を提供するオブジェクト。

戻り値

Rational

value パラメーターで指定されている数値と等価の値。

例外

ArgumentNullException
value は null です。
FormatException
value が正しい形式ではありません。

次の例ではチルダ(~)を負の符号として定義する方法を 2 つ提示します。1 つ目の例は IFormatProvider インタフェースの GetFormat メソッドを実装し、NumberFormatInfo オブジェクトを返却するクラスを作成する方法です。

まず NumberFormatInfo オブジェクトを返却するクラスを定義します。

```
public class RationalFormatProvider : IFormatProvider
{
    public object GetFormat(Type formatType)
    {
        if (formatType == typeof(NumberFormatInfo))
        {
            NumberFormatInfo numberFormat = new NumberFormatInfo();
            numberFormat.NegativeSign = "~";
            return numberFormat;
        }
        else
        {
            return null;
        }
    }
}
```

次に NumberFormatInfo オブジェクトを提供するクラスをインスタンス化して使用します。

```
Rational number = Rational.Parse("~6354129876", new
RationalFormatProvider());

// Display value using same formatting information
Console.WriteLine(number.ToString(new RationalFormatProvider()));

// Display value using formatting of current culture
Console.WriteLine(number);
```

2 つ目の方法は NumberFormatInfo オブジェクトの値を書き換えて provider パラメーター に渡す方法です。

```
NumberFormatInfo fmt = new NumberFormatInfo();
fmt.NegativeSign = "~";

Rational number = Rational.Parse("~6354129876", fmt);
// Display value using same formatting information
Console.WriteLine(number.ToString(fmt));
// Display value using formatting of current culture
Console.WriteLine(number);
```

注釈

value パラメーターは、次の形式で表された数字文字列でなければなりません。 [ws][sign]digits[ws]

角カッコ([および])内の要素は省略可能です。それぞれの要素は次の表のとおりです。

, , , ,	
要素	説明
ws	空白文字。省略可能です。
sign	符号。省略可能です。有効な文字はカレントカルチャーの
	NumberFormatInfo.NegativeSign と NumberFormatInfo.PositiveSign プロパティ
	によって決まります。
digits	数字列。0から9及び小数点で構成している必要があります。先頭の0は無視し
	ます。有効な小数点はカレントカルチャーの
	NumberFormatInfo.NumberDecimalSeparator プロパティによって決まります。
provider パラメーターは、IFormatProvider インタフェースの GetFormat メソッドが実装さ	

provider ハフメーターは、IFormatProvider インタフェースの GetFormat メソットが美装されたオブジェクトを設定することができます。 GetFormat メソッドの戻り値は NumberFormatInfo オブジェクトです。Parse(String,IFormatProvider)メソッドには主に 3 種類方法で provider を渡すことができます。

- CultureInfo が提供する書式を表すオブジェクト。(GetFormat メソッドがそのカルチャに合わせた NumberFormatInfo オブジェクトを返します。)
- 直接インスタンス化した NumberFormatInfo オブジェクト。(GetFormat が NumberFormatInfo オブジェクト自信を返します)
- IFormatProvider を実装したカスタムオブジェクト。(そのオブジェクトの GetFormat メソッドが NumberFormatInfo オブジェクトをインスタンス化して返します。)

Parse(String, Number Styles, I Format Provid

er)

指定したスタイルおよびカルチャ固有の書式の数値の文字列形式を、それと等価の Rational に変換します。

public static WS.Theia.ExtremelyPrecise.Rational Parse(String value,NumberStyles style,IFormatProvider provider);

パラメーター

value String

変換する数値を含んだ文字列。

style NumberStyles

value に許可されている書式を指定する列挙値のビットごとの組み合わせ。

provider IFormatProvider

value に関するカルチャ固有の書式情報を提供するオブジェクト。

戻り値

Rational

value パラメーターで指定されている数値と等価の値。

例外

ArgumentException

style が NumberStyle 値ではない、または、seyle に AllowHexSpecifier または HexNumber フラグが含まれます。

ArgumentNullException

value は null です。

FormatException

value が正しい形式ではありません。

次の例では style と provider パラメーターの様々な組み合わせで Parse(String, Number Style, IFormat Provider)を呼び出しています。

```
// Call parse with default values of style and provider
Console.WriteLine(Rational.Parse(" -300
                    NumberStyles.Integer, CultureInfo.CurrentCulture));
// Call parse with default values of style and provider supporting tilde as
negative sign
Console.WriteLine(Rational.Parse("
                                       ~300 ",
                                       NumberStyles.Integer, new
RationalFormatProvider()));
// Call parse with only AllowLeadingWhite and AllowTrailingWhite
// Exception thrown because of presence of negative sign
try
   Console.WriteLine(Rational.Parse("
                                           ~300
                                    NumberStyles.AllowLeadingWhite |
NumberStyles.AllowTrailingWhite,
                                    new RationalFormatProvider()));
}
catch (FormatException e)
                                {1}", e.GetType().Name, e.Message);
   Console.WriteLine("{0}: \text{\text{\text{Y}}}n
// Call parse with only AllowHexSpecifier
// Exception thrown because of presence of negative sign
try
{
   Console.WriteLine(Rational.Parse("-3af", NumberStyles.AllowHexSpecifier,
                                          new RationalFormatProvider()));
catch (FormatException e)
```

```
Console.WriteLine("{0}: \text{\text{\text{Y}}}n
                                  {1}", e.GetType().Name, e.Message);
}
// Call parse with only NumberStyles.None
// Exception thrown because of presence of white space and sign
try
   Console.WriteLine(Rational.Parse(" -300 ", NumberStyles.None,
                                           new RationalFormatProvider()));
catch (FormatException e)
                                 {1}", e.GetType().Name, e.Message);
   Console.WriteLine("{0}: \forall n
// The example displays the following output:
          -300
          -300
          FormatException:
             The value could not be parsed.
          FormatException:
             The value could not be parsed.
          FormatException:
//
             The value could not be parsed.
```

Parse(String, Number Style, IFormat Provider) メソッドを呼び出す際に使っている Rational Format Provider クラスは、負の符号としてチルダ (~) を定義しています。

```
public class RationalFormatProvider : IFormatProvider
{
    public object GetFormat(Type formatType)
    {
        if (formatType == typeof(NumberFormatInfo))
        {
            NumberFormatInfo numberFormat = new NumberFormatInfo();
            numberFormat.NegativeSign = "~";
            return numberFormat;
        }
        else
        {
            return null;
        }
    }
}
```

注釈

style パラメーターは空白、符号、桁区切り記号、小数点記号など使用することのできる文字を指定することができます。value パラメーターは、次の形式のうち style パラメーターで許可された要素を数字列に含めることができます。

[ws][\$][sign][digits,]digits[.fractional_digits][E[sign]exponential_digits][ws] 角カッコ ([および]) 内の要素は省略可能です。それぞれの要素は次の表のとおりです。

要 説明

ws 空白文字。省略可能です。

NumberStyles.AllowLeadingWhite フラグおよび

NumberStyles.AllowTrailingWhite フラグで使用可能かが決まります。

\$	通貨記号。有効な文字はカレントカルチャーの
	NumberFormatInfo.CurrencyNegativePattern と
	NumberFormatInfo.CurrencyPositivePattern プロパティの値で決ま
	ります。
	NumberStyles.AllowCurrencySymbol フラグが有効な時に使用可能
	になります。
sign	符号。有効な文字はカレントカルチャーの
	NumberFormatInfo.NegativeSign と
	NumberFormatInfo.PositiveSign プロパティによって決まります。
digits	数字列。0から9及び小数点で構成している必要があります。
fractional_digits	fractional_digits 以外では先頭の 0 は無視します。
exponential_digits	
,	数字の桁区切りです。有効な文字はカレントカルチャーの
	CurrencyGroupSeparator & NumberGroupSeparator &
	PercentGroupSeparator プロパティで決まります。
	NumberStyles.AllowThousands フラグが有効な時に使用可能になり
	ます。
	小数点記号です。有効な文字はカレントカルチャーの
	CurrencyDecimalSeparator, NumberDecimalSeparator,
	PercentDecimalSeparator プロパティで決まります。
	NumberStyles.AllowDecimalPoint フラグが有効な時に使用可能にな
	ります。
Е	"e"または"E"文字は、指数表記で表されている事を示します。
	NumberStyles.AllowExponent フラグが有効な時使用可能になりま
	す。

数字のみを含む文字列(NumberStyle.None が対応)は常に正常に解析できます。他の NumberStyle メンバーは多くの要素を許可しますが、value パラメーターにはその全ての要素を含んでいる必要はありません。

None	数字のみです。
AllowDecimalPoint	整数部、小数点(.)と桁の小数部を許容します。
AllowExponent	"e"または"E"文字と共に、指数部を許容します。
AllowLeadingWhite	value の先頭に空白がある事を許容します。
AllowTrailingWhite	value の末尾に空白がある事を許容します。
AllowLeadingSign	value の先頭に符号がある事を許容します。
AllowTrailingSign	value の末尾に符号がある事を許容します。
AllowParentheses	負数をカッコで囲って表記する事を許容します。
AllowThousands	整数部を桁区切りする事を許容します。
AllowCurrencySymbol	通貨記号を使用する事を許容します。
Currency	すべての要素を許容します。 ただし、 value プロパティを 16
	進数または指数表記で表す事はできません。
Float	value の先頭、末尾の空白、value 先頭の符号、および小数点、指
	数表記を許容します。
Number	value の先頭、末尾の空白、value 先頭、末尾の符号、桁区切り記
	号、および小数点といった 10 進数の全ての要素を許容します。
Any	すべての要素を許容します。 ただし、value パラメーターを 16
	進数で表記する事はできません。

適用対象

.NET Core

2.0

.NET Framework

4.6.1

.NET Standard

2.0

UWP

10.0.16299

Xamarin.Android

8.0

Xamarin.iOS

10.14

Xamarin.Mac

3.8